

# 【応募者様へお知らせ】

## 募集要項と応募用紙について

映像技術部門については、昨年から変更は御座いません。

音響技術部門では「カテゴリー」「ジャンル」の見直しを行っております。

それに伴い、募集要項で説明していた、注意事項等を、こちらの書面にてご説明させていただきます。

## 【一般映像技術部門】

### 【編集・グレーディングで使用了機材情報】

審査の参考にする為、使用機器/ソフト名のご記入をお願い致します。

応募される作品で使用了機器/ソフト名を右端のポップアップのリストから選択して下さい。

リストに無い場合は、その他をお選びいただき、下段に機器名をご記入ください。

グレーディングで応募される際、わかる範囲で、使用されたカメラ機器もお教えてください。

## 【一般音響技術部門】

### 「カテゴリー」「ジャンル」の見直しについて

皆様からの応募作品には、5.1chサラウンド作品や再生環境に応じたマルチチャンネル作品に加え JPPA AWARDS2025 では、新しい技術である「Dolby Atoms」作品の応募も御座いました。

そこで「マルチチャンネルミキシング」カテゴリーを新設し、同条件の技術作品間で審査を行います。

また、応募作品の幅を広げる為に、各カテゴリーに「音声のみ作品」の「ジャンル」を新設致しました。

### 【カテゴリー変更点】

カテゴリーは「以下の 3 つと致します。

「ミキシング」

「マルチチャンネルミキシング」

「サウンドデザイン」

### 【ジャンル変更点】

「ミキシング」カテゴリーの「ジャンル」では「TV」と「WEB」を区分けしておりましたが、今回よりその区分けを止め、以下の 6 つのジャンルと致します。※赤字のジャンルは新設

「広告」(WebCM を含む)

「ドラマ/映画」(Web ドラマ/アニメを含む)

「ドキュメンタリー」

「バラエティ」

「大型映像/その他」

「音声のみ作品」(ラジオ作品、オーディオブック等)

「マルチチャンネルミキシング」のジャンルは以下の 2 つ

「ドラマ/映画/大型映像/他」(PV, ゲームプロモを含む)

「音声のみ作品」(音楽作品、イマーシブやアトモスオーディオ、オーディオブック等)

「サウンドデザイン」カテゴリーのジャンルは以下の 3 つ

「広告」

「ドラマ/映画/大型映像/他」(PV, ゲームプロモを含む)

「音声のみ作品」(ラジオ作品、音楽作品、イマーシブやアトモスオーディオ、オーディオブック等)

### 新設した「音声のみ作品」ジャンルについて

「ミキシング」カテゴリー

「ラジオ CM」や「ラジオ番組」「オーディオブック」作品等の応募をお受けいたします。

「マルチチャンネルミキシング」カテゴリーや「サウンドデザイン」カテゴリー

「音楽」「イマーシブオーディオ」「ドルビーアトモスオーディオ」「ラジオ作品」「オーディオブック作品」の応募をお受けいたします。

また、共通したジャンル「ドラマ/映画/大型映像/他」では、PV やゲームプロモーションビデオなどの作品もご応募ください。

### 「音声のみ作品」のエントリー方法

ステレオ作品の場合は、「黒味映像をベースに L/R 音声を収録した mp4 データ」か、WAV (Stereo タイプ or L/R 各チャンネルデータをファイル名に明記) で応募してください。マルチチャンネル作品の場合は、今まで通り「各チャンネルの WAV データ」でチャンネル配列をファイル名に明記しご応募下さい。

### 【音響技術部門へ応募される皆様】

応募される皆様が関わった内容に「チェック印 ✓」をお入れ下さい各項横の空欄にプルダウンで「✓」「△」の選択をお願い致します。

また、作品を完成させるまで、ポストプロ現場で要した日数や作業時間も審査の参考としますので、ご記入をお願い致します。

### 【Dolby Atmos 作品(映像あり)を応募される場合】

必ず **Dolby Atmos Home ADM-BWF データ** でご応募ください。その際、作品データ(.mp4) と必ず同尺になるようお願い致します。

データがずれている場合は、減点の対象となりますのでお気を付けください。

### 【変則的なマルチチャンネル作品で応募される皆様】

昨今、マルチチャンネル作品の場合、野外や、上映会場など、通常とは異なる環境で視聴、再生される作品もあると思います。そのような作品を応募される際には、簡単なスピーカーの設置図(配置図)や、再生機器、使用されたスピーカーなどの情報を応募用紙とは別に、PDF 書面にして、作品(mp4)と共に記憶装置に収録してお送りください。

### 【応募用紙内の「制作意図及び技術説明」について】

日々、様々な環境や条件下で、苦労や工夫を凝らしながら、作品に取り組んでいると思います。

皆さんの技術力を評価して頂く為に、応募用紙にこの説明の項を設けております。

応募される皆様は、ご自身の技術力をご記入頂き、是非審査員へアピールしてください。